

JR連合結成30年を次代への起点に据え JR産業の持続的成長と 組合員・家族の幸せを実現しよう!



JR連合

http://www.jr-rengo.jp JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会 facebook twitter

【国土交通省】 鉄道に関する提言・中間取りまとめを公表 JR連合の政策提言と 同趣旨の内容が 複数盛り込まれる

JRをはじめとする鉄道事業者は、人口減少・少子高齢化や高速道路網整備などの環境変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うご利用の減少もあり、極めて厳しい経営環境に置かれている。そのような中、国土交通省は今年に入ってから今後の鉄道政策に関わる有識者会議を立ち上げ、公共交通の再構築に向けた議論を進めてきており、7月下旬に課題や論点、具体的な解決策を示した提言等を続けて公表した。

道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会、③今後の鉄道物流のあり方に関する検討会は、それぞれ議論内容を整理し、「提言」「中間取りまとめ」を公表した。これらの会議体には、JR連合がアドバイザーを受ける有識者や交運協の代表なども参加しており、提言にはJR連合の政策提言と同趣旨の内容が多く盛り込まれた。その内容は今後の政府予算編成・税制改正への反映が想定され、JR産業の持続的成長に向け私たちが政策の実現へ大きな前進が期待される。

【有識者会議の主な提言内容】

Table with 2 columns: 会議 (Meeting) and 提言の概要 (Summary of proposals). Rows include discussions on regional revitalization, freight logistics, and fare systems.

「国土交通省ホームページに掲載の各提言等を基にJR連合作成」



平和行動 IN 広島

8日の集會では、主催者を代表して連合・清水秀行事務局長が「日本が核兵器保有国と非保有国の『橋渡し役』を自認するのであれば、核兵器禁止条約の批准と、NPT再検討会議の議論をリードするこ

とを両輪として、核兵器廃絶に向けた取り組みを進めるべき」と参加者に訴えた。翌9日の「ピース・ウォーク」では、連合長崎の青年・女性委員会とともに、原爆落下中心地公園と平和祈念像がある長崎市平和公園を巡った。祈念像の近くにある「平和の泉」を訪れた際には、この泉が、多くの被爆者が体内まで焼け、水を求めて亡くなったことに対し、その霊に水を捧げて冥福を祈る」という思いが込められて建立されたことを学び、犠牲者に想いを致し、恒久平和を誓った。



8月3日第1回労働政策委員会



8月4日第1回組織担当者会議

JR連合は、8月1日より各種委員会等を開催し、第32回定期大会で掲げた運動方針の具体的な取り組みをスタートさせた。例年は7月中旬から取り組みをスタートさせているが、7月10日投票の参議院選挙に伴い、JR各単組の定期大会が7月末まで続いたことから、8月1日が実質的なキックオフとなった。本年は結成30年の節目にあたる。引き続きコロナ禍の苦境からの反転攻勢に注力するとともに、次代を見据え、未来志向の運動を力強く展開していく。

また、各種委員会において専門部会を立ち上げることも確認した。第1回組織担当者会議(8月4日) 組織強化・拡大に向けて、情勢や課題を共有し、各労働組の取り組み状況も踏まえ、意見交換を行った。また、「民主化闘争」のあり方についての意見交換も行った。

連合2022平和行動 働く者の立場から平和を希求し 平和の輪を広げよう オキナワ・ヒロシマ・ナガサキ

沖縄「慰霊の日」である6月23日、連合「平和オキナワ集会」が3年振りに現地・沖縄県で開催され、JR連合から3人が参加した。第一部では、法政大学法学部政治学科の明田川融教授より、日米地位協定の歴史的経緯や課題、課題解決に向けた取り組みについて本集會の基調となる講演があった。第二部の平和式典では、主催者を代表して連合の芳野友子会長が挨拶に立ち、「平和で安全な社会は私たちが暮らし、働く上で欠かせ



連合オキナワ平和集會

5日の「ピース・ウォーク」では、連合広島の青年委員会・女性委員会のスタッフによるガイドを受けながら、原爆ドームや平和記念公園内の慰霊碑を巡ったほか、広島平和記念資料館を見学し、核兵器がもたらした筆舌に尽くし難い悲劇、戦争の惨禍を改めて学んだ。その後、市内で開催された「連合2022平和ヒロシマ集会」に参加し、世界平和

の実現、核兵器廃絶に向けた思いを共有した。翌6日には、「国鉄原爆死没者慰霊式」に参列した。ここでは遺族代表やJR関係者らとともに、鉄道の先人であり、被爆して死没した旧国鉄職員310柱の御霊を祀る慰霊碑に献花し、哀悼の誠を捧げた。



連合平和ナガサキ集會

「民主化闘争」のあり方についての意見交換も行った。第1回30周年事業企画委員会(8月26日) 10月6日に開催予定の「J

労働関係の強化に向け「民主化闘争」のあり方等について意見交換を行った。また、交運共済の契約移転に伴う諸課題についての意見交換も実施した。

教育関係は、青年女性役員研修会における教育内容の検討を行った。広報関係は、機関紙「誌」JR連合」て

るみに」の掲載内容を確認し、SNSのさらなる活用に向けて意見交換を行った。第1回男女平等参画推進委員会(8月31日) JR連合「第4次男女平等参画行動計画目標」達成に向けた取り組みについて意思統一を図り、新中期労働政策ビジョン改訂に向けた専門部会を立ち上げた。

JR北労組・貨物鉄産労 1年間でそれぞれ10人を超える新たな仲間が加入

JR北労組と貨物鉄産労へ、昨年7月以降、本年7月までの1年間にそれぞれ14人と11人の新たな仲間が加わった。まずは、加入を決断した組合員の勇気に敬意を表し、歓迎したい。また、両単組における日頃からの地道な世話役活動にも感謝を申し上げる。加入を決断した組合員らに対しては、JR総連側の活動や自組織の活動を伝えるだけでなく、JR北海道・JR貨物の労働関係における過去経緯や現状も隠すことなく伝えている。その中での加入という決断には頭が下がる思いであり、JR連合としてもその期待に応えるべく、より一層の運動の強化を図っていく。また、今回加入した仲間の大半は新入社員を含む若手組合員である。いわゆるユース組織を持つ民主化支援単組を中心に、全国の仲間から新たな仲間への絶大な支援を強く要請する。

また、今回加入した仲間の大半は新入社員を含む若手組合員である。いわゆるユース組織を持つ民主化支援単組を中心に、全国の仲間から新たな仲間への絶大な支援を強く要請する。

ヤマちゃん

なかのばやみ(No.318)



民主化闘争強化・連帯行動 コロナ禍情勢の回復に伴い 活動を力強く再開



J R九州労組が J R北労組を激励

民主化闘争の強化・民主化当該単組支援を目的とした連帯行動については、コロナ禍による制限を受け、2020年以降実施できない状況が続いていた。しかし、2021年度の後半以降はワクチン接種が進み、新たな生活様式を踏まえた形で各単組の組織活動が再開され、新規加入者の激励行動を含む本連帯活動の取り組みも再開されている。

- ◆ 6月
 - ・ J R西労組 (J R北労組)
- ◆ 4月
 - ・ J R連合青年・女性委員会 (J R北労組)
 - ・ J R西労組 (J R北労組)
- ◆ 3月
 - ・ J R東海ユニオン (J R北労組)
 - ・ J R西労組 (J R北労組)

- ◆ 7月
 - ・ J R連合東海地協 (貨物鉄産労)
 - ・ J R九州労組 (J R北労組)
 - ・ J R四国労組 (J R Eユニオン)



関東地協第31回定期委員会

2022年以降で取り組み実績がある組織名を記載。カッコ内は民主化当該単組名



中国地協第30回定期総会

J R連合中国地協は7月25日、岡山市内において、第30回定期総会を中国エリアの各単組から約30人の参加のもとで開催し、向こう1

生活闘争、組織の充実・強化、取り巻く環境の変化等について各単組での取り組みを改めて要請した。

また、貨物鉄産労への支援など、組織拡大・強化の取り組みを力強く進めていく決意を述べた。

また、コロナ禍における3産別共同行動を振り返り、政治・政策活動の必要性を訴えた。

結果がばらばらで定期委員会を締めくくった。

3地方協議会が2022年度方針について意思統一

中国地方協議会第30回定期総会
「今こそ連携し」「団結力」を高めよう

委員長の、J R連合からは宮野勇馬企画局長が出席し、宮野局長は、「確認会話」等の安全確立の取り組みや3産別共同行動による成果

地方路線に関する現状と課題、それに対するJ R連合の取り組みなどを共有し、J R連合への一層の結束を呼びかけた。

役員選出では、現行の三役体制を次年度も引き継ぐことを確認した。

その後、経過報告、活動方針案・予算案等の提起を行い、満場一致の承認を受けた。



東海地協第31回定期委員会

J R西日本連合第31回定期大会 組織強化に向け 組合員に寄り添う運動を



J R西日本連合第31回定期大会

J R西日本連合は7月27日、大阪市内において第31回定期大会を開催した。

議長は、「社会変容が急速に進展する今こそ、組合員に寄り添った力強い運動を展開し、求心力を高め、より強固な組織を構築していく」と呼びかけた。

議長は、「安全」「業務」に向けて、責任ある運動を力強く推進していくとの決意を述べた。

最後に、団結がばらばらで定期大会を締めくくった。

議長は、「社会変容が急速に進展する今こそ、組合員に寄り添った力強い運動を展開し、求心力を高め、より強固な組織を構築していく」と呼びかけた。

議長は、「安全」「業務」に向けて、責任ある運動を力強く推進していくとの決意を述べた。

最後に、団結がばらばらで定期大会を締めくくった。

ジェイアール四国 メンテナンス労働組合

ジェイアール四国メンテナンス労働組合は、J R四国グループの一員であるジェイアール四国メンテナンスに勤める社員・嘱託社員・契約社員の総勢113人が加入する労働組合です。

ジェイアール四国メンテナンスは、鉄道車両の給油・給水・給砂、検査修繕および構内入換、駅舎・車両等の清掃、ビルの整備管理、ホテルのベッドメイクなど幅広く業務を行っています。

信頼されるリーダー
山内智広執行委員長

J R連合 ふれあいキャンペーン グループ労組めぐり

～全国の仲間を応援しよう～

を持てるような組織づくりを行い、組織力の強化に力を注いでいます。

また、誇りと安心の持てる職場づくりの実現もめざしています。

災害は避けられない。 安心はふやせる。

家族の幸せを災害から守る
火災共済/地震風水害共済/
交通災害共済/入院共済



最後に、団結がばらばらで定期大会を締めくくった。